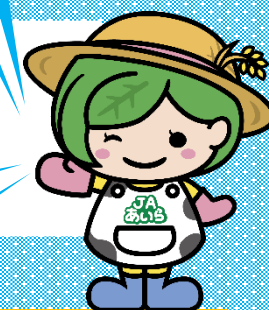


# 令和7年度に出された意見要望とその回答について

# Q&A

第33回総代会前地区別説明会をはじめ、令和7年度に組合員の皆様より頂戴したご意見・ご要望に対する回答と進捗状況・今後の取り組みについてまとめさせていただきますので、ご報告いたします。



## ご要望にお応えしました！

**Q 栗野購買店舗のトイレの老朽化が進んでいるので、修繕をした方がいいのではないか。**

**A** 8月7日にトイレの修繕を完了致しました。

## ご要望にお応えするため現在取組み中です！

**Q 家畜市場について、県外の購買者誘致を積極的に行ってほしい。**

**A** 毎月子牛せり市開催時に、県外購買者を中心に購買者との意見交換会を開催するとともに、今年6月には家畜人工授精師会と合同で香川県への誘致活動を実施し、早速7月の子牛せり市でご購買いただいております。また、11月以降で県外への購買者誘致も計画しており、更なる集客力向上に努めて参ります。

**Q 子牛が増えてきている中、管外購買者の導入頭数にも限度があるので、管内での導入・保留増頭に努めてもらいたい。**

**A** 優良繁殖雌牛更新加速化事業や預託導入事業の活用により地域内での導入・保留に努めてまいります。

**Q 畜産指導員が本来業務に専念できるよう体制を整備してほしい。**

**A** 指導員を畜産部に集約し効率的な体制作りに取り組んでおりますが、指導員不足を補うため引続き人員確保に努めて参ります。

**Q 営農指導員が少なく、農家巡回ができていないのではないか。**

**A** 営農指導員は各営農センターに配属され、本所の指導員とも連携しながら対応しております。また、営農アドバイザーとの連携による巡回も行っています。

**Q 後継育成、担い手不足等の問題に積極的に取り組むとともに農業に魅力を感じれるよう支援をしてほしい。**

**A** 行政と連携し、補助事業等を活用しながら新規就農者の育成・支援に取り組んでいます。今後も就農相談体制と新規就農者の育成・支援に努めて参ります。

## ご要望にお応えするため現在取組み中です！

**Q 昨年の農協まつり、支店・支所まつりが、とても活気があったので、今年も開催してほしい。**

**A** 食と農を基軸として地域に根差した協同組合であることを、組合員・地域住民に知ってもらい、JAをもっと身近に感じてもらう取り組みとして、平成30年から「農協まつり」を開催しております。本年度も、10月から11月にかけて支店・支所まつりをそれぞれの地域で、11月29日には「みんなおいで！農協まつり」を開催し、多くの方にご来場いただきました。

## ご理解ご協力をお願いいたします！

**Q 米の価格は今後安定していくのか。また、新しい品種などの対策はあるのか。**

**A** 米の価格については、今年度も高値で推移しています。本年度についても米の買取販売を継続しておりますので、出荷をお願いします。新しい品種の、あきの舞については、来年度より、「芽出し苗」で育苗センターにおいて対応いたします。また、種子については、購買での注文対応となりますのでご利用下さい。

**Q 野菜苗について、品目ごとの未収金サイトの検討はできないか。**

**A** 野菜苗について品目ごとのサイト設定は困難なため、今まで通り2ヶ月サイトでの対応をお願いします。なお、どうしてもサイトが必要な方は個別に対応いたしますので、各営農センターへお問い合わせください。

**Q 水稻苗を購入したが、価格が高いように感じる。組合員(正・准)と組合員外で価格の差別化は出来ないのか。**

**A** 水稻苗の価格については予約注文の際に値引を実施していることから、組合員と組合員外との価格を差別化するのは難しい状況にありますので、ご理解の程よろしくをお願いします。

**Q 肥料・農薬の価格が高いため、安くしてほしい。**

**A** 現状、肥料・農薬の価格は高止まりが続いていますが、地域資源を活用した低コスト肥料の推奨と、予約注文分について価格対策を実施しておりますので、是非ご利用ください。今後も国等に対して価格安定の働きかけを継続して参ります。

**Q 福山地区の移動販売車と移動金融車の日程を合わせた方が便利がいいため、検討してほしい。**

**A** 利用者のご要望に答えられるよう、運行ルート（停車場所・時間）の要望があった場合は都度、見直しの検討を行いこれまで可能な限り対応してきております。

**Q 年金友の会の旅行や総会、食事会等イベントを増やしてほしい。**

**A** 年金友の会の活動につきましては、毎年、年金友の会支部長会議において、旅行や支部会など各種イベントの実施について検討・協議を行っております。本年度は「年金友の会感謝の集い」を開催し、来場された皆様にご好評をいただきました。いただきましたご意見も踏まえ、次年度以降は、会員の皆様により楽しんでいただけるよう、イベントの充実・拡大に向けて取り組んでまいりますので、ご理解の程よろしくをお願いします。

## その他の意見に対する回答

**Q 代理店向けの融資(事業資金)を利用しやすくしてほしい。**

**A** 幅広く融資対応出来るよう信用保証付資金等を用意しておりますので、お気軽にお声掛けください。

**Q JA共済のPRが足りないのではないか。**

**A** 担当エリアを設定し複合渉外を中心とした3Q活動・あんしんチェックの展開と契約者フォロー活動を実施しております。広報活動として始良市、霧島市の広報誌にJA共済の案内を掲載、ラジオCM、FMきりしま・あいらびゅーFMに出演し各種キャンペーン案内と農協まつりやAコープイベントでの共済ブースを設置した共済事業のPRと情報発信を行っております。また、始良イオン内のシネマサンシャインにてJA共済のCMを放映し来場者に対しチラシの配布と、ピンクリボン月間に合わせて、がん共済お見積もりキャンペーンを実施しました。

**Q 子牛の価格が暴落し経営が厳しい。国に現状を報告して何かしら要請して欲しい。**

**A** 当JAのみならず、県内共通の問題でもあります。直近では8月に県内JAの代表者が陳情に上京し、その結果として8月30日時点で、農水省は畜産・酪農経営安定対策を含む令和7年度予算の概算要求を正式決定し、総額は前年度当初予算比16%増の2兆6,389億円となりました。なかでも「強い農業づくり総合支援交付金」については大幅増額(+81億円の202億円)となるなど、我々JAグループがごしまの要請事項が概ね反映された内容となっています。

**Q JAで出荷する米の販売ルートについて教えて欲しい。**

**A** パールライスを通してAコープ等の小売店に並ぶルートとなります。

**Q 農家の方で亡くなられた方や辞められた方がいるため、農機具等不要なものの相談にのってほしい。**

**A** JAでは不要となった農機具の相談を受けて、必要な方へ委託販売する取組みを行っております。中古農機具の流通量が不足していますので、是非ご相談ください。  
農機センター：0995-59-3887

**Q 加工用米に他社との価格差があるのはなぜか。**

**A** 加工用米については、各集荷業者毎で販売先、販売単価が異なります。従って、いくばくかの価格差も出てこようかと思います。農協の場合、経済連を通じて実需者へ販売していきますが、提示しています金額は、あくまでも仮渡金額ですので例年通りであれば追加精算もあるかと思います。今後有利販売がなされるよう経済連へも要請していきます。

**Q イノシシやシカと言った鳥獣被害に遭っており、米の出荷に応じて電柵補助を行う等、条件を付けながら支援できないか。また、狩猟免許の取得支援等、鳥獣被害減少に向けた対策をして欲しい。**

**A** 現在、JAで電柵等の補助は行っておりません。条件はありますが、各行政の補助制度の利用は可能ですのでお問い合わせください。また、狩猟免許の支援という事ですが、行政でも行っていないようです。今後行政との協議の中で検討していきます。

**Q 信用事業の事業利益が前年より5,000万増加した要因は何か。**

**A** 預金利息・貸付金利息・有価証券運用益等による収益が増加した事と、費用についても圧縮を図った事から事業利益が増加しました。